

誰でも利用できる居場所・障害者の社会参加と就労支援

# 特定非営利活動法人 風の家通信



《2022年5月1日 第29号》 <https://kazenoe.sakura.ne.jp/wp/>

## 新しい仲間が増えました！

令和4年4月1日

## よろしくお願ひ致します！

特別支援学校高等部を卒業した仲間が、新年度から新しく仲間として加わることになり、形ばかりの入所式が行われました。理事長からの挨拶や、施設長から風を家の説明を受け、ドキドキ・ワクワクの初日だったと思います。先輩たちの暖かな拍手を受け、これからが楽しみです。



## 赤い羽根共同募金助成金交付説明会参加！

令和4年3月29日、静岡市で赤い羽根共同募金助成金の交付式があり、理事長が参加しました。今回の助成金で、開けることができなかったホールの窓を開閉式の窓に修理できることになり換気もできます。そして作業室の開けられない窓は、掃き出しのできる戸に変えることで、内職の出し入れをお客様の迷惑にならないようにできるようになります。なにより、危険な窓から緊急時に避難訓練していたものが、非常口として避難できることがありがたいです。足の悪い仲間もいるため、5月中に何とか工事ができるといいですね。



重たい戸。



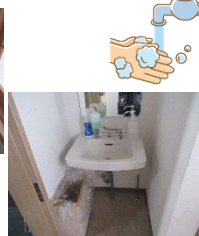
換気できない窓。



非常口がない。



蛇口がかたく使いにくい。



戸を変えます！ 開閉式の窓にします！ 掃き出し戸にします！ 自動蛇口に取り替えます！

全工事費、約120万円前後(助成金90万円・自己資金30万円)程度。しかし、作業室の掃き出し戸の外は石があり足場が悪く、非常口にするには危険のためコンクリートにします。そのための募金を始めたいと思います。食堂会計所に、募金箱を設置しました。ご協力、よろしくお願ひ致します。

## 特定非営利活動法人**風の家**通常総会開催 令和4月15日(金)

正会員：16名（総会参加者14名・委任状2名）

コロナ禍で危ぶまれていた総会でしたが、滞りなく開催することができました。今年は、正会員である静岡福祉大学学長の増田先生も参加して下さり、「以前は県の方針で居場所にも力を入れていたが、今は熱も冷めている状態。県内でノウハウや情報の共有化が必要」等の貴重なお話も伺うことができました。また、会員からは、「学生を巻き込む」「多職種の正会員、何かができるはず」「展望をもった取り組み必要」「自社でも地域連携に取り組んでいる。アイデアを出し合いながら協力したい」「相談支援は、なかなか難しい」「食事だけではなく、話を聞いてくれる人がいると良い」「制度を使用しないで、一步手前で支えあうこと大切」等の意見も。また、「将来的に長期計画としてグループ結成は？」や「福祉だから、何かをやるとかではなく、普通に当たり前の暮らしがしたい」等々、様々な意見がでました。風の家は、なんの後ろ盾もない小さなNPO法人ですが、「人」だけは自慢できます。人の縁で成り立っているのが風の家だと思いました。



## 新年度の集合写真を撮りました！



令和4月19日(火)利用者：10名・職員：4名

【編集後記】 6年目を無事に迎えることができた風の家です。昔、居場所は「誰かのための居場所」だったのに、気づいてみれば「自分の居場所」を先にとつなげています。次の人に渡すバトン、「育成」も大切。そして、当事者支援として相談事業も大切です。